

株式会社アドウェイズ
2012年3月期 決算説明会
(東証マザーズ2489)

2012年5月10日

代表取締役社長 岡村陽久

目次

1. 年間の業績	・・・ P.3
2. 第4四半期の業績	・・・ P.11
3. 事業概況と今後の展開	・・・ P.17
①スマートフォン広告事業	・・・ P. 19
②アプリ事業	・・・ P. 21
③海外事業	・・・ P. 23
4. 通期業績と配当について	・・・ P.25
5. 来期に向けて	・・・ P.27
6. 補足資料	・・・ P.35

1.年間の業績

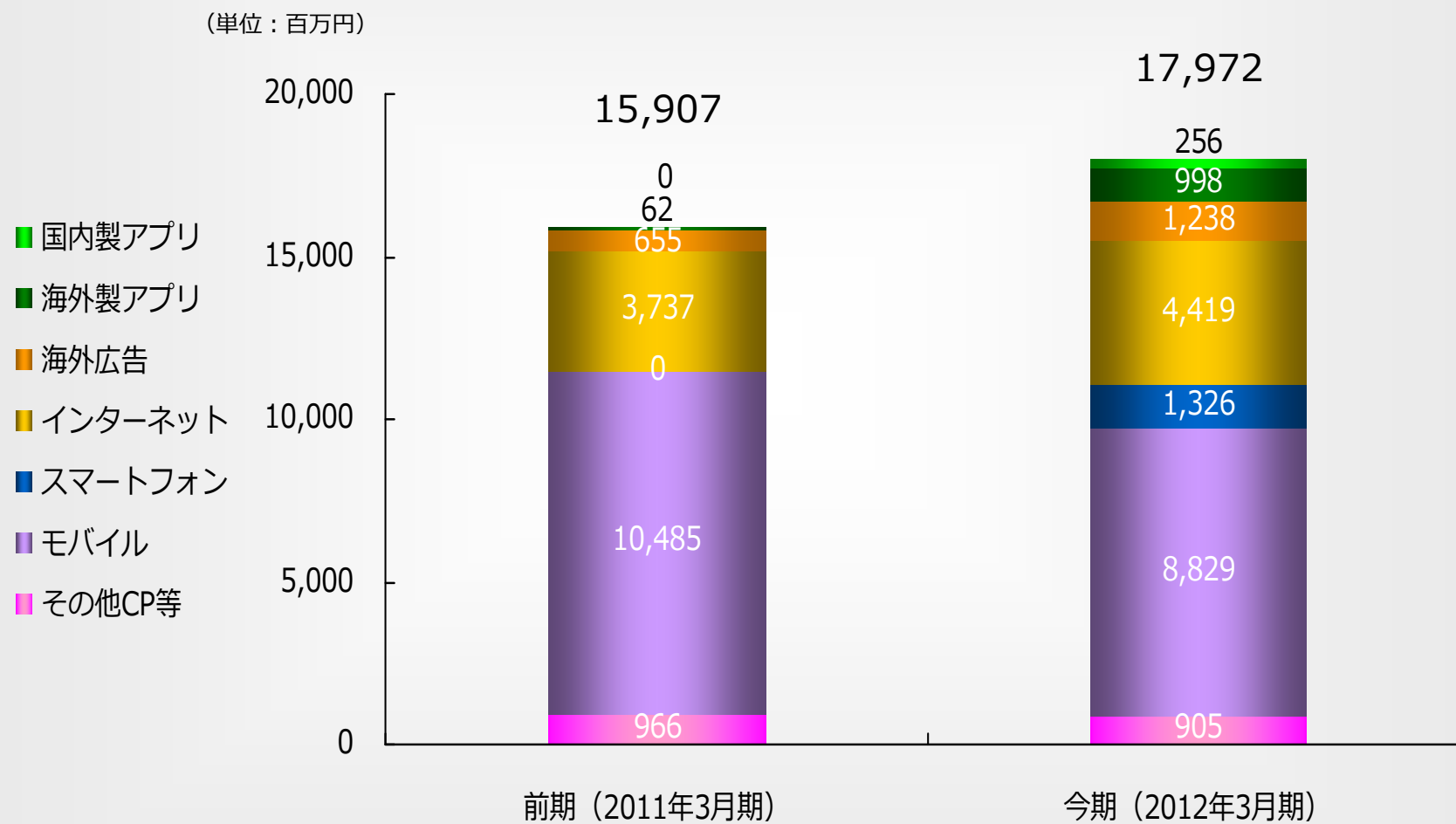
1. 年間の業績

今期の業績と前期比較

(単位：百万円)

	2012年3月期	2011年3月期	増減額	増減率
売上高	17,972	15,907	+2,065	+13.0%
売上総利益	3,804	2,733	+1,071	+39.2%
販管費	2,484	1,873	+610	+32.6%
営業利益	1,320	860	+460	+53.5%
経常利益	1,334	864	+470	+54.4%
四半期純利益	785	469	+315	+67.2%

1. 年間の業績～売上高

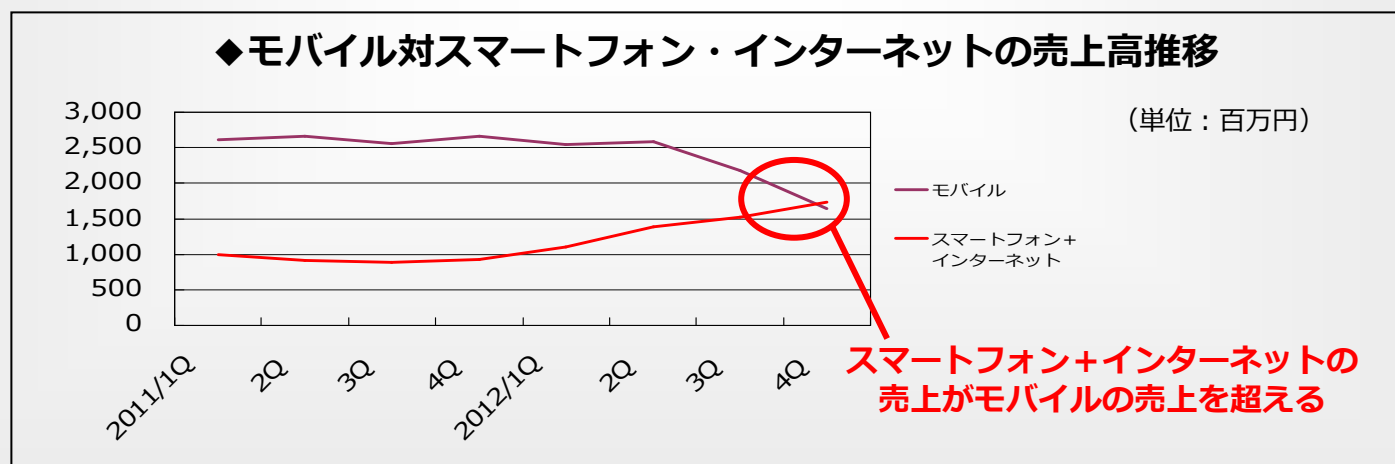


1. 年間の業績～売上高

売上高：20億65百万円（前期比13.0%）の増加。

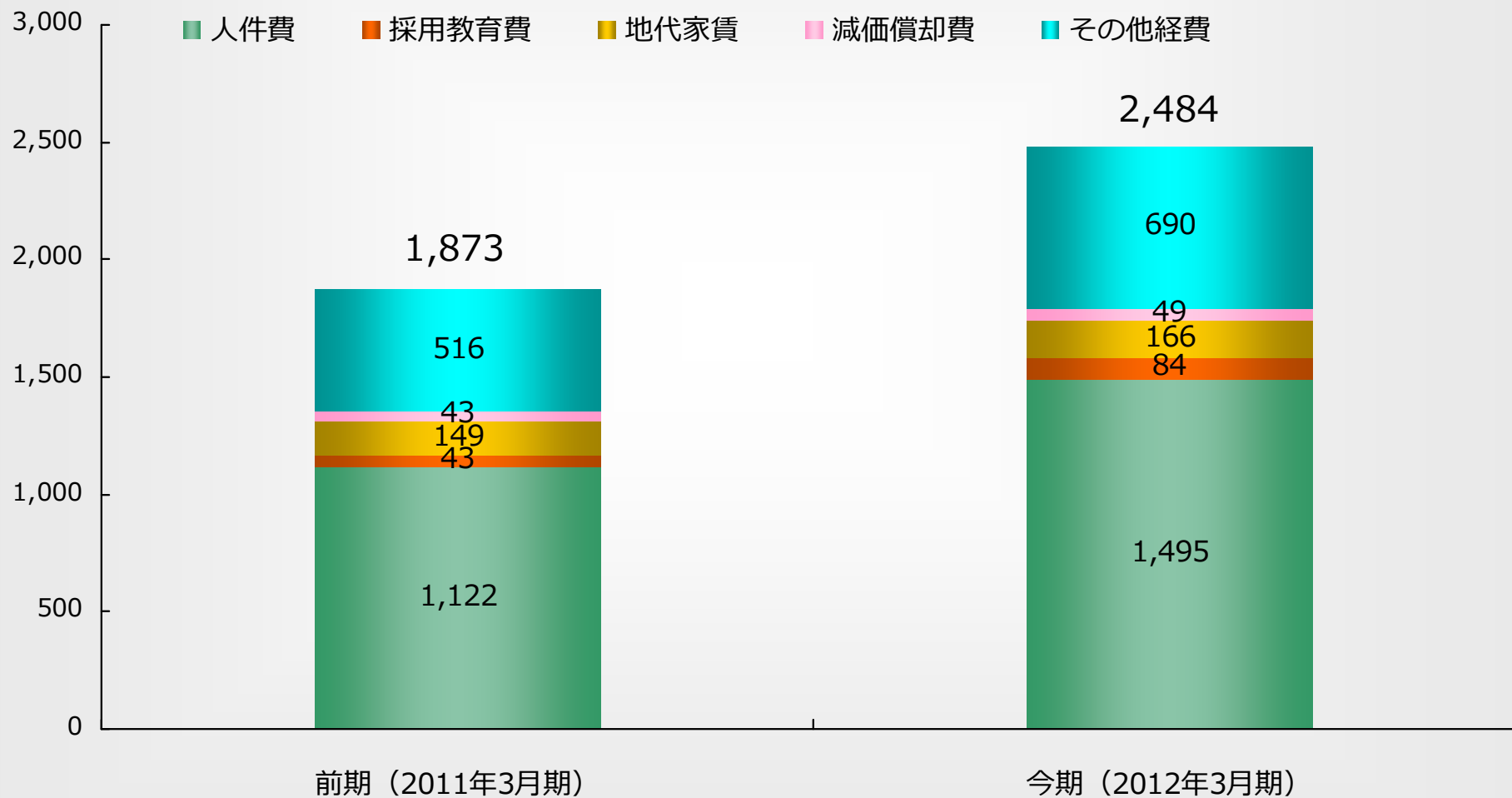
■ 要因

- ・ アプリ事業が11億92百万円（前期比1,922.6%）の増加。
- ・ 国内広告事業が3億52百万円（前期比2.5%）の増加。
（モバイルが減少、スマートフォンとインターネットが増加）
- ・ 海外広告事業が5億83百万円（前期比89.0%）の増加。



1. 年間の業績～販売管理費

(単位：百万円)



1. 年間の業績～販売管理費

販売管理費：6億10百万円（前期比32.6%）の増加。

■ 要因

- ・ 人件費が3億73百万円の増加。
（主にアプリ、スマートフォン広告、海外広告で人員増強）
- ・ その他経費では研究開発費が50百万円の増加。

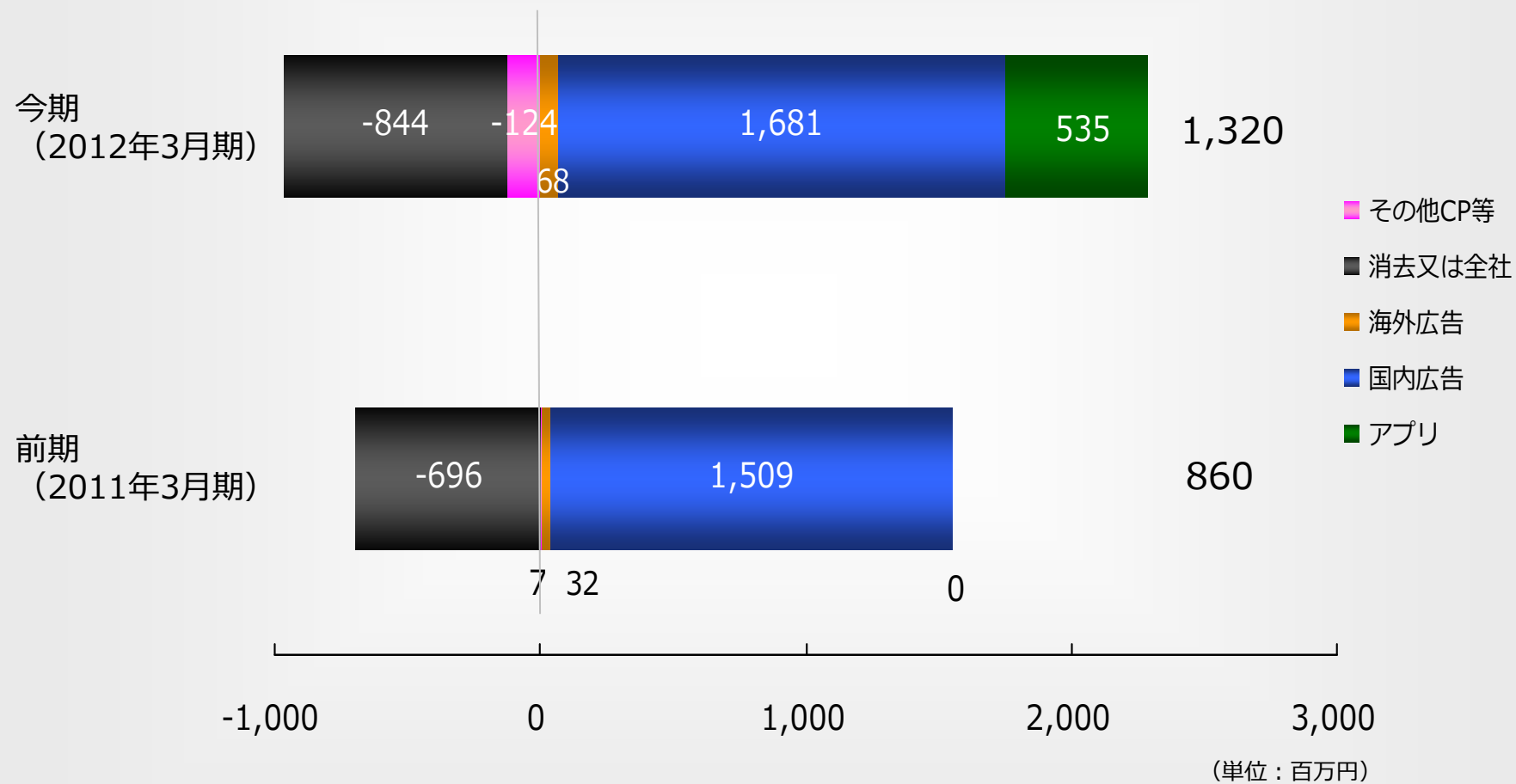
当社グループ従業員数

（単位：人）

種別	主要事業	前期人数 ('11年3月末)	今期人数 ('12年3月末)	増減数	増減率
日本アドウェイズ	国内広告	190	231	+41	+21.6%
中国アドウェイズ、東南アジア（ベトナム以外）	海外広告	77	172	+95	+123.4%
中国開発センター、ラビオンソーシャル、 東南アジア（ベトナム）	アプリ	92 ※	271	+179	+194.6%
国内子会社（アドウェイズ・エンタテインメント）	CP	40	25	▲15	▲37.5%
合計	-	399 ※	699	+300	+75.2%

※ラビオンソーシャルは2011年7月より当社グループとなりましたので、2011年3月末の人員にはグループ会社となる前の同社の人数（6人）を含んでおります。

1. 年間の業績～営業利益



1. 年間の業績～営業利益

営業利益：4億60百万円（前期比53.5%）の増加。

■ 要因

- ・ アプリ事業で5億35百万円の増加。
- ・ 国内広告事業で1億72百万円（前期比11.4%）の増加。
- ・ 海外広告事業で36百万円（前期比112.5%）の増加。



今期は、人員の増強や拠点設立など先行投資を実施。

- ・ アプリ事業が成長し、営業利益が大幅に増加。
- ・ 国内広告事業は10%程度の営業利益増。市場の変化に適応し、モバイルの減少をスマートフォンとインターネットの増加で上回る。
- ・ 海外広告事業は、順調に成長を続ける。

2.第4四半期の業績

2. 第4四半期の業績

第4四半期の業績と四半期比較

●前年同四半期比

(単位：百万円)

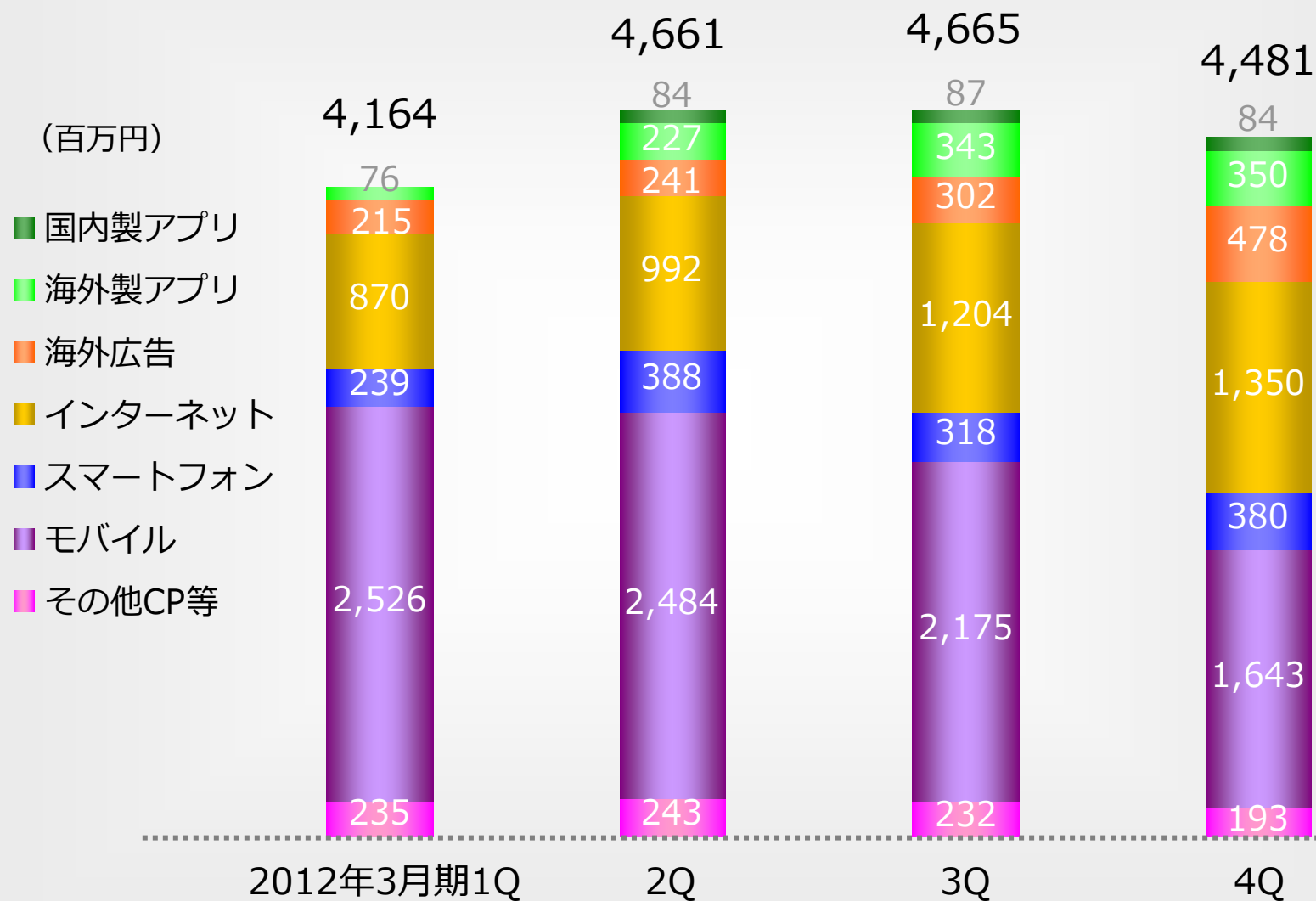
	2012年3月期 4Q	2011年3月期 4Q	増減額	増減率
売上高	4,481	4,118	+362	+8.8%
売上総利益	988	712	+275	+38.7%
販管費	694	501	+192	+38.3%
営業利益	294	210	+83	+39.7%

●前四半期比

(単位：百万円)

	2012年3月期 4Q	2012年3月期 3Q	増減額	増減率
売上高	4,481	4,665	▲183	▲3.9%
売上総利益	988	1,090	▲101	▲9.3%
販管費	694	628	+66	+10.5%
営業利益	294	462	▲168	▲36.3%

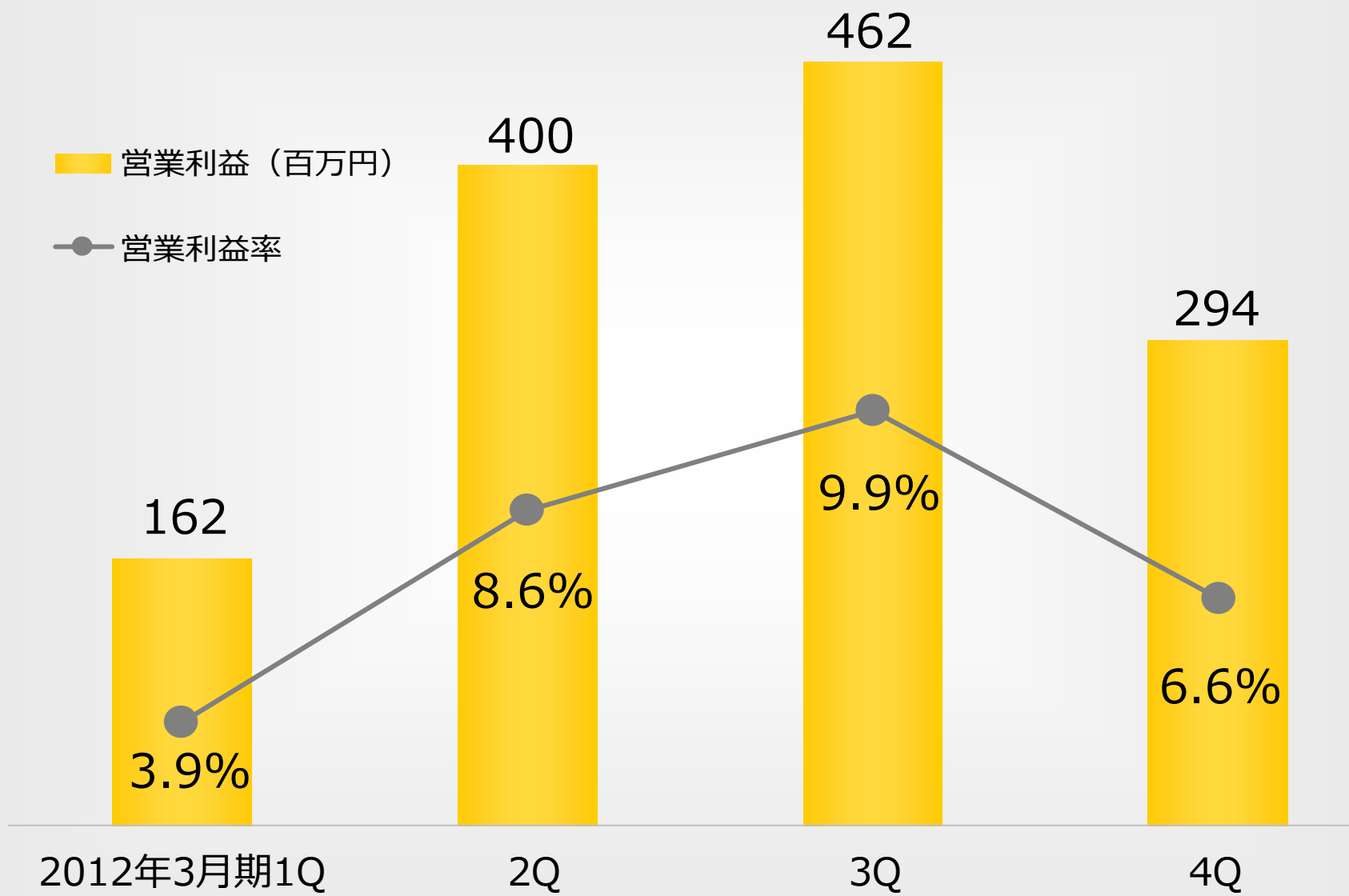
2. 第4四半期の業績～売上高



2. 第4四半期の業績～売上高

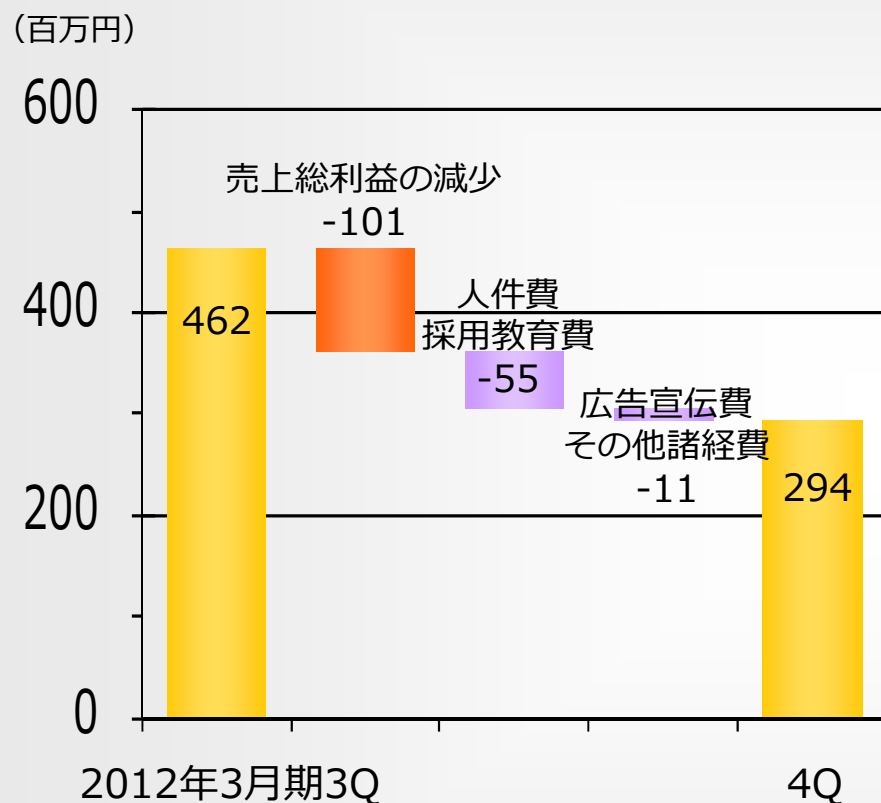
- 売上高は、前四半期比1億83百万円の減少。
- 国内広告事業では前四半期比3億23百万円の減少。
モバイルで5億31百万円の減少、スマートフォンで62百万円の増加、インターネットで1億45百万円の増加。
- アプリ事業では前四半期比3百万円の増加。
- 海外広告事業では前四半期比1億75百万円の増加。

2. 第4四半期の業績～営業利益



2. 第4四半期の業績～営業利益

■ 前四半期比較



当四半期の営業利益は、
前四半期比で1億68百万円
(前四半期比▲36.3%) 減少
しました。

主な要因は以下になります。

- ・ モバイル広告事業の減収
- ・ 人件費および新卒採用等の諸費用の増加

※海外子会社の決算期は12月のため、当社グループにおける2012年3月期第4四半期の連結決算対象は10月～12月となります

3. 事業概況と今後の展開

事業の概況と今後の展開

■ 2012年3月期の注力事業

- ① スマートフォン広告事業
- ② アプリ事業
- ③ 海外事業

スマートフォン広告事業の概況

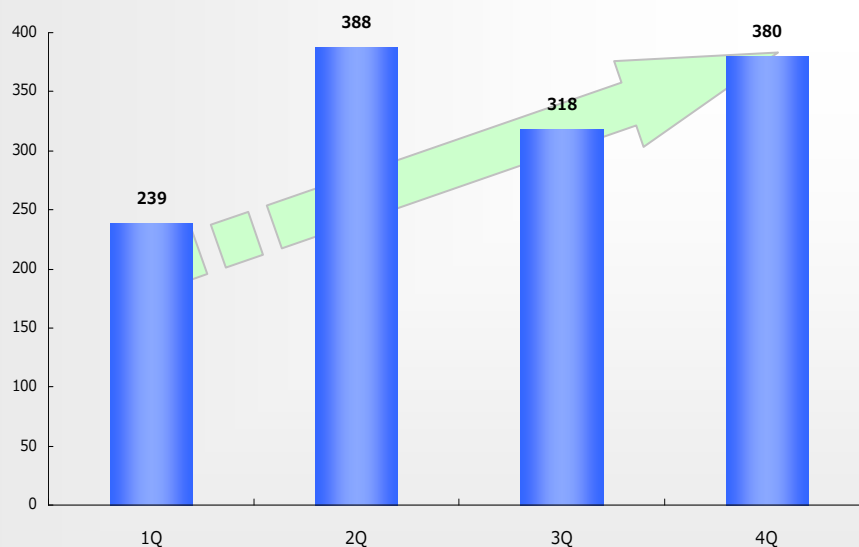
スマートフォン広告が順調に拡大。

第4四半期のスマートフォン広告の売上高は、3億80百万円となり引き続き拡大。



スマートフォンアプリビジネスに必要な、集客（Promotion）、収益（Monetize）、分析（Analytics）をワンストップで提供する広告サービス。

(百万円)



※第2四半期は特殊要因のため増加しています



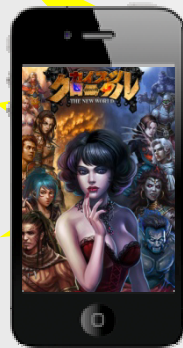
スマートフォン広告事業の展開

スマートフォン広告事業は、 開始1年で売上高10億円を超える事業に成長。

- スマートフォン広告サービス「AppDriver」が、順調に拡大。リスティング、純広等でもデータ連携する媒体が拡大し、プロモーション分析とマネタイズに効果を発揮。
- 「AppDriver」を海外展開。まず、中国「AppDriverChina（中国名：App動力）」を開始。台湾、タイなどアジア各国でサービス提供を目指す。
- 株式会社ディー・エヌ・エーとの戦略的業務提携により、「Mobage」のアフィリエイト広告枠を独占販売。

アプリ事業の概況

新規アプリ事業で収益化に成功！



カイブツクロニクル
(アドウェイズ)
トップセールスランキン
グ最高1位を獲得。

iOS 2011年1月リリース
Android 2011年4月リリース



小悪魔キャバ嬢らいふ
(ラビオンソーシャル)
トップセールスランキン
グ最高2位を獲得。

iOS 2011年6月リリース
Android 2011年11月リリース



New

「ギャラクシーコレクション」
(ラビオンソーシャル (仙台))

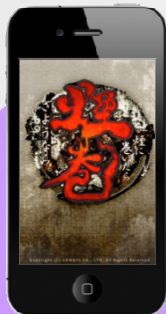
iOS
2012年4月25日リリース



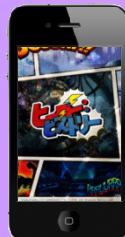
「タワーオブドラゴン」
(ラビオンソーシャル)

iOS
2012年1月リリース

ゲーム分野



「煙に巻いたらさようなら。」
(アドウェイズ)
iOS 2011年7月リリース
Android 2011年11月リリース



「ヒーロー：ヒストリー」
(アドウェイズ)
iOS 2011年10月リリース
Android 2011年12月リリース



「スペースクロニクル for
GREE」 (アドウェイズ)
iOS 2011年12月リリース



「7 セブン サウザンドウォーズ」
(バンダイナムコゲームスと共同開発)
©2011 NAMCO
BANDAI Games Inc.
Image Art & Logo
Tadahiko Kawaguchi
iOS 2011年10月リリース

プラットフォーム戦略
コンテンツ会社
と提携

その他の分野

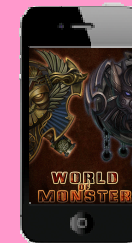


「セール中のアプリ一覧」
(アドウェイズ)
iOS 2011年6月リリース



「そうしてあなたはさってゆくのね」
(アドウェイズ)
iOS 2011年7月リリース

海外展開



「World Of Monster」
(Adways)
Android 2011年12月リリース

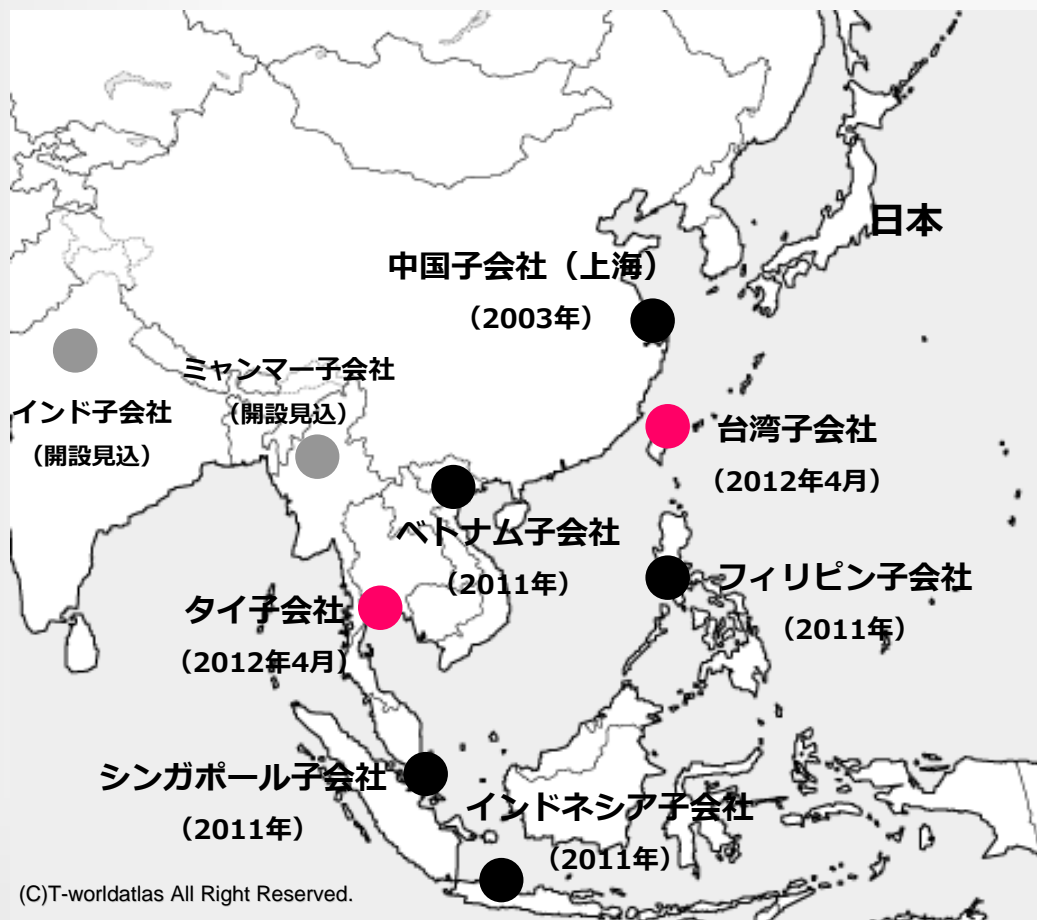
アプリ事業の展開

**ゲーム分野を中心に、次々とアプリをリリース。
新たな収益の柱として育てる。**

- ・ スマートフォンアプリ事業に進出し、人気作「カイクックロニクル」を中心に収益化に成功。
- ・ アドウェイズグループの各開発拠点で、アプリ開発が可能な体制を構築。
- ・ 「Mobage」に代表されるプラットフォームにアプリを提供するプラットフォーム戦略を強化する。
- ・ スマートフォンアプリを海外向けに提供する。

海外事業の概況

海外進出を加速し、9カ国で事業を展開。



海外事業の展開

アジアの成長市場と米国に拠点を設立、 さらに進出地域を拡大。

- ・ 2012年3月期は、新たに5カ国（ベトナム、フィリピン、インドネシア、シンガポール、米国）に拠点を設立。
- ・ 11月に伊藤忠商事株式会社の持分法適用関連会社となり、同社と海外進出やインターネット関連事業で協業を加速。
- ・ さらに、2012年4月に米国子会社を設立しタイ、台湾の現地インターネット広告代理店にM&Aを実施。アジアと北米における海外事業に注力する。
- ・ インド、ミャンマーに進出を予定。

4.通期業績と配当について

4. 通期業績と配当について

◇2012年3月期連結業績（2011年4月1日～2012年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期業績	17,972	1,320	1,334	785

「株主への安定した利益の還元」

当期は、アプリ事業が大幅に成長し、中長期的な成長に向けた基盤の整備も同時に進んでいることから、株主の皆様のご支援にお応えするため、設立以降初めてとなる株主配当を実施させていただくことといたしました。

今回は連結当期純利益の11%を配当性向の目処とし、
1株当たり1,080円の期末配当を予定。

5.来期に向けて

アプリ事業・海外事業に加え さらに新規事業に投資する

スマートフォンアプリ事業への投資

海外事業への投資

新規事業への投資

スマートフォンアプリ事業への投資

- 20タイトルをリリース予定
 - ・ 各拠点から多様なアプリを提供。
 - ・ Mobageなどソーシャルゲームプラットフォームへのアプリ提供も注力。

⇒アプリ事業への来期投資

: 今期5億円→12億円 (約2.4倍)

アプリの開発

- シミュレーション系
 - 宇宙系ゲーム
 - 育成系ゲーム
 - 街育成系ゲーム
 - ライフシミュレーション
- その他
 - カードゲーム
 - 歴史アクション
 - アクションパズル
 - パズルゲーム
- コンテンツ会社との協業
- 既存タイトルの続編
- 既存タイトルの海外版
- テレビ連動ゲーム

計20タイトル

パブリッシング

国内外の有カタイトルを販売

- ・ 海外のゲームを日本へ
- ・ 日本のゲームを海外へ

5. 来期に向けて

海外事業への投資

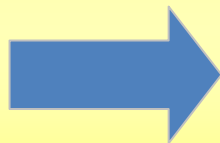
■ 海外8カ国で事業展開

- ・ スマートフォン広告「AppDriver」を中国版を皮切りに台湾・香港その他東南アジアに展開。
- ・ アフィリエイト広告を東南アジアで展開。

⇒ 海外事業への来期投資

： 今期3.1億円→6.7億円（約2.2倍）

既存サービスをアジアに



アジア全域
に

アジア市場サービスの開発

- ・ 海外EC支援ツール
- ・ 現地での広告代理業
- ・ 検索連動サービス

新規事業への投資

- 20事業を開始予定
 - ・ Facebook関連アプリ50タイトル予定。
 - ・ ゲーム以外のスマートフォン向けサービスの開拓。
 - ・ EC向けサービスを提供。

⇒新規事業への来期投資

： 今期約1.1億円→約5.6億円（約5倍）

スマートフォンの 販促サービス

- ・ 動画広告
- ・ 来店型ポイントサービス
- ・ ギフトサービス
- ・ アプリ予約サービス
- ・ ソーシャルキュレーション

スマートフォン以外 のサービス

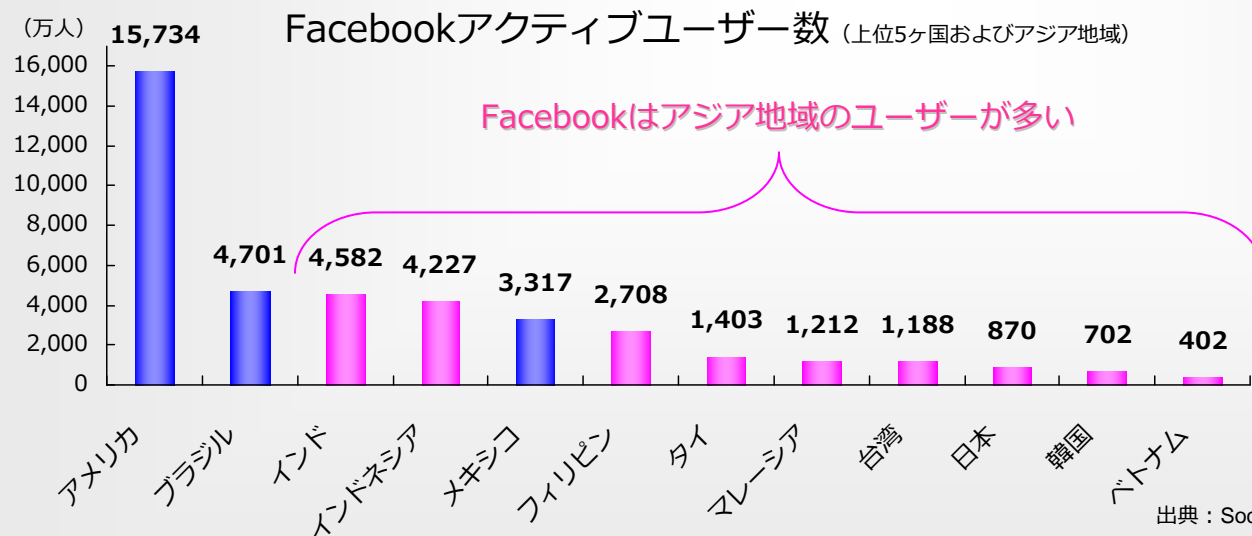
- ・ Facebook販促サービス「しえあど」
- ・ 価格情報サービス
- ・ グルメレビューサイト

5. 来期に向けて

さらにFacebook関連アプリ事業を開始

フィリピンのソーシャルメディアラボとラビオン
ソーシャルを中心に、計50タイトルをリリース予定。

まず日本でサービスを開始し、ユーザー数が多い
アジア地域に提供範囲を拡大。



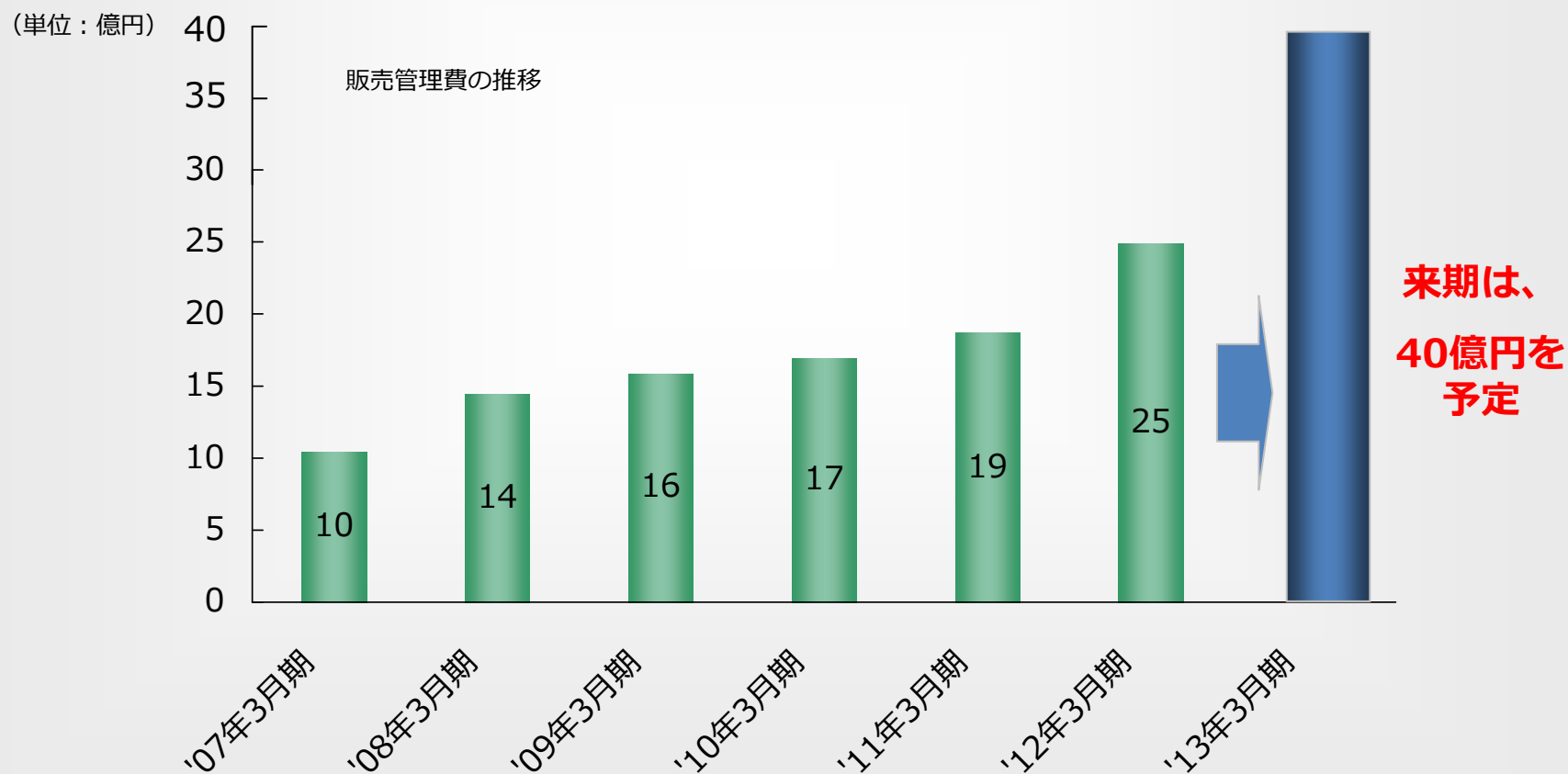
Facebook関連アプリ
「お絵かきSTORY」
7月リリース予定

※Facebook (フェイスブック) とは、世界で9億人以上が利用するSNS。実名登録のため信頼性が高い。個人が日記や写真などを公開したり、友人に購入した商品情報を共有 (シェア) できるほか、ゲームやニュースなどさまざまなジャンルのアプリも提供している。

5. 来期に向けて

投資を含めた販売管理費

これらの投資を行うため、
来期の販売管理費は今期比1.6倍の
40億円を見込んでいます。



総括

さらなる成長のために
アプリ・海外・新規事業へ新たに約15億円の投資

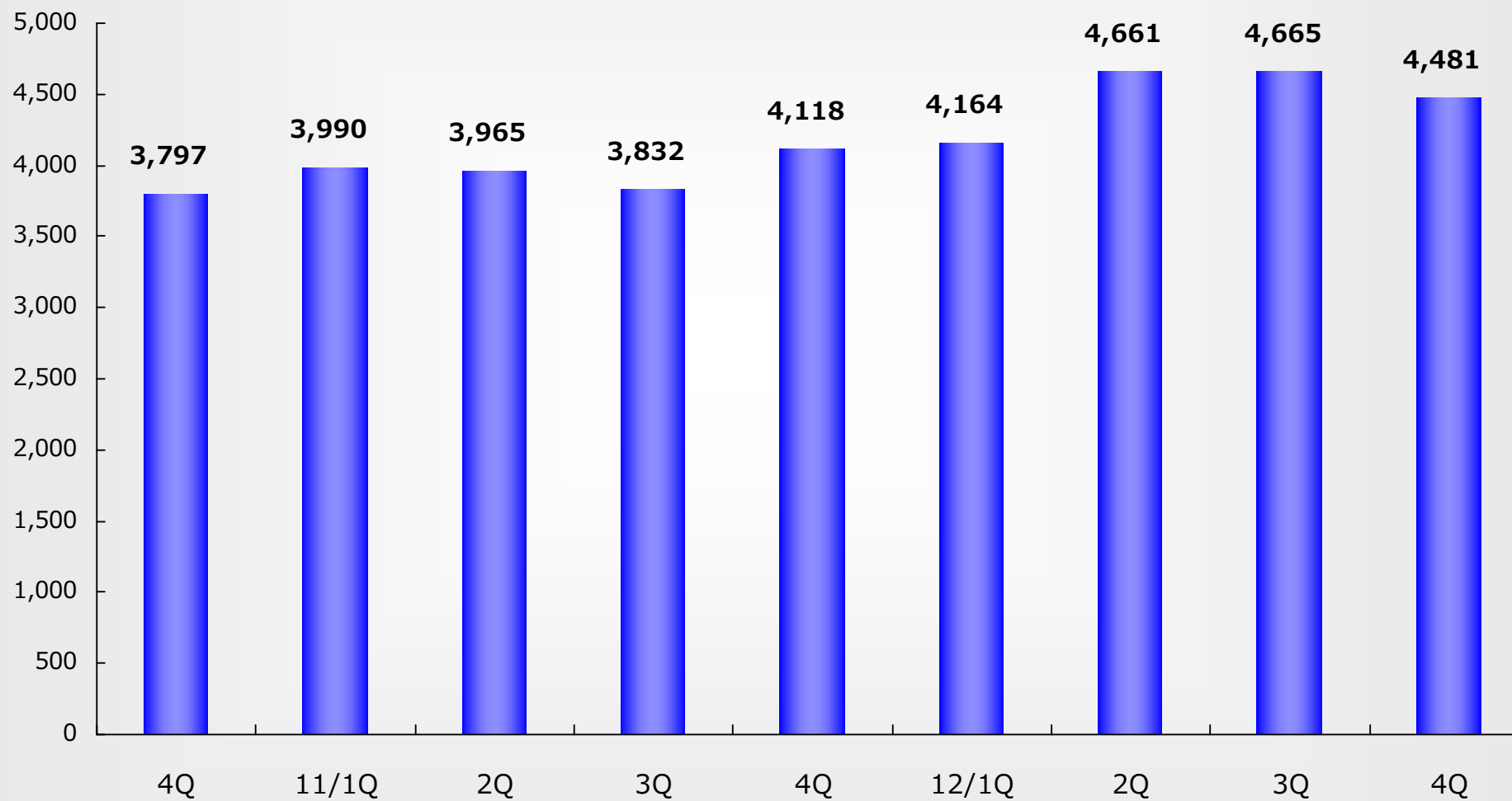
	2012年3月期 (今期)	2013年3月期 (来期)	増減額	増減率
アプリ事業	5億円	12.2億円	+7.2億円	+144.0%
海外事業	3.1億円	6.7億円	+3.6億円	+116.1%
新規事業	1.1億円	5.6億円	+4.5億円	+409.1%
国内広告事業 その他	15.6億円	15.5億円	-0.1億円	▲0.6%
投資の合計額	24.8億円	40億円	+15.2億円	+61.3%

6.補足資料

6.補足資料

連結売上高 四半期推移

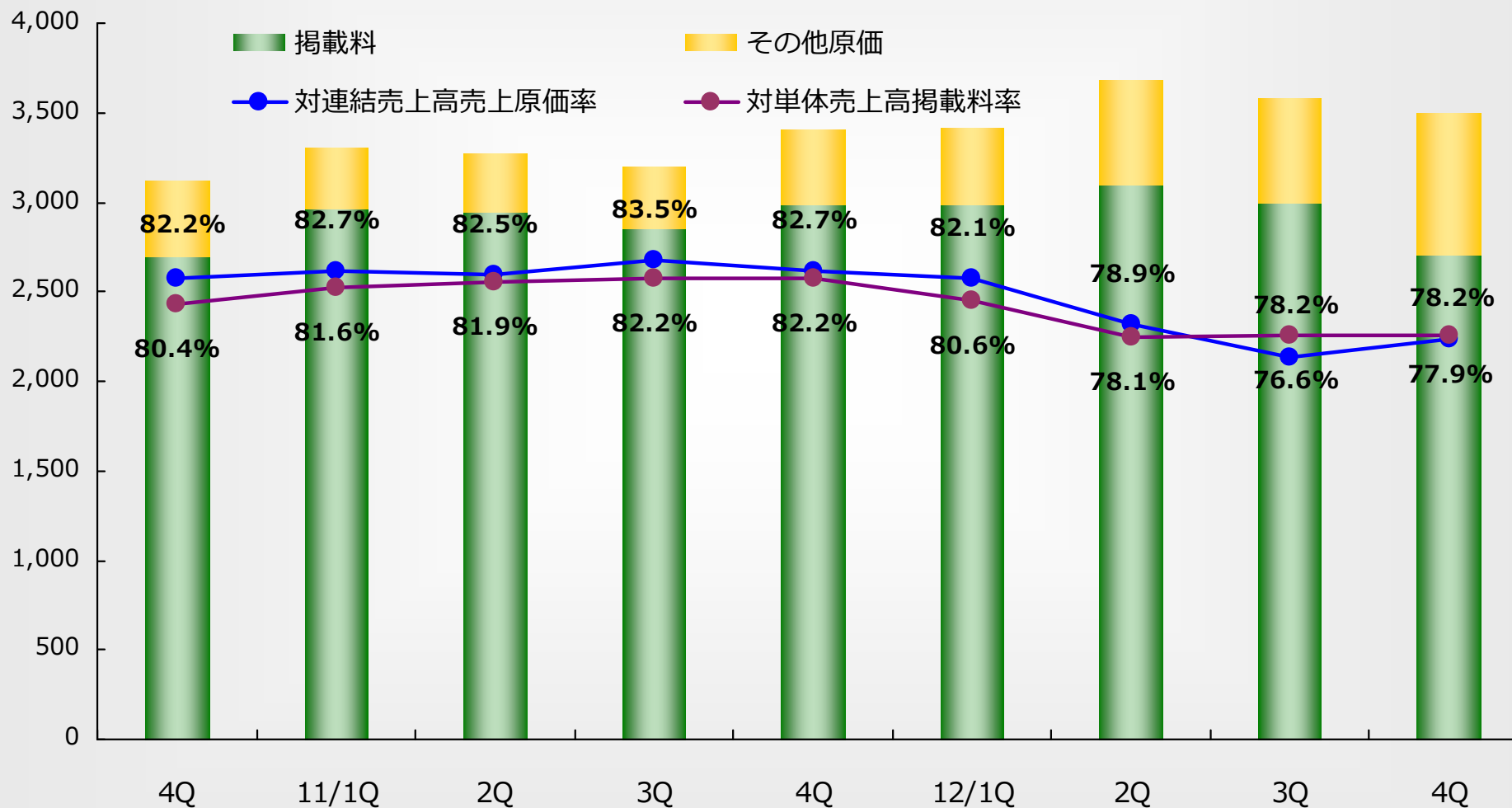
(単位：百万円)



6.補足資料

連結売上原価 四半期推移

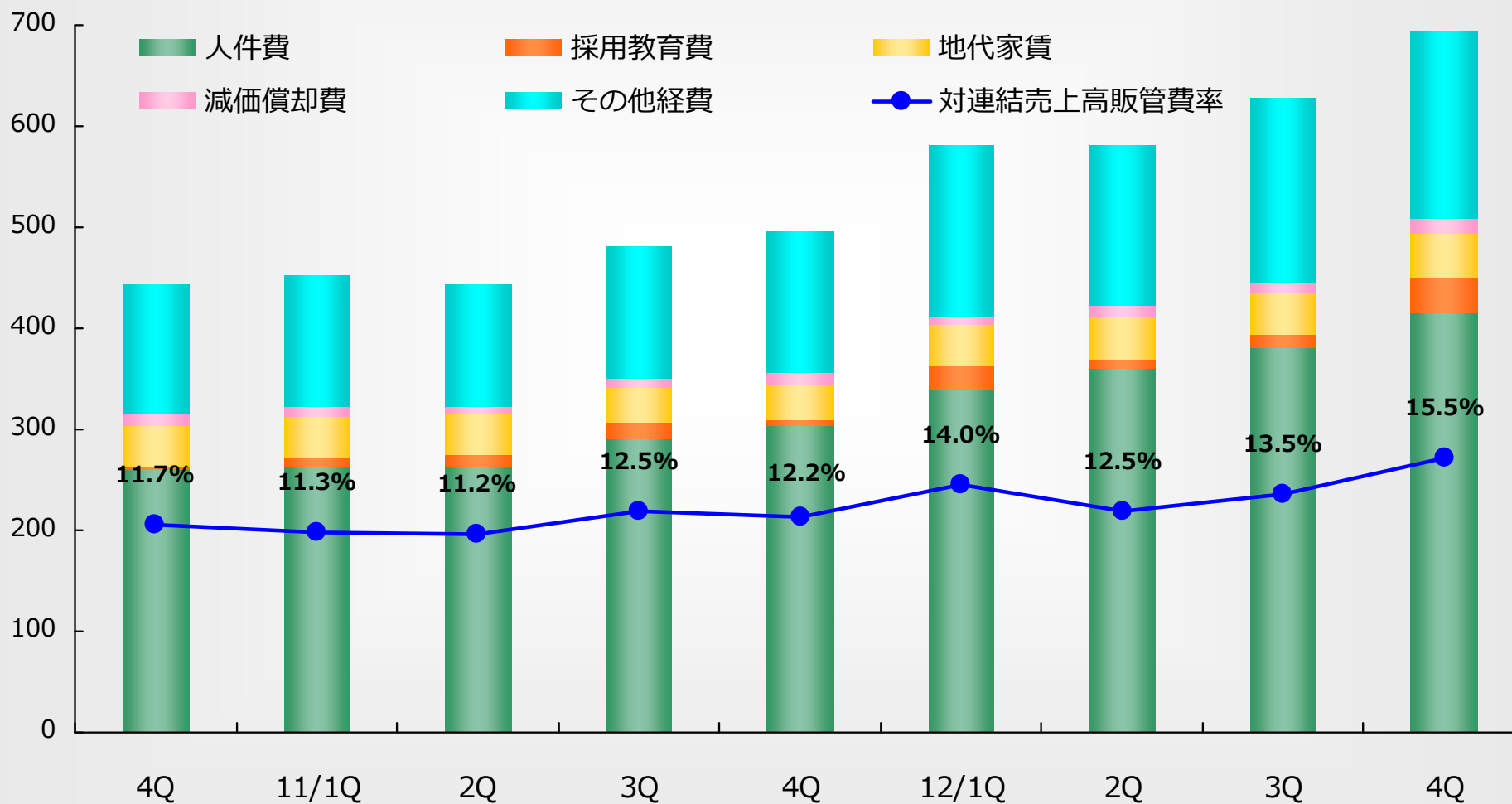
(単位：百万円)



6.補足資料

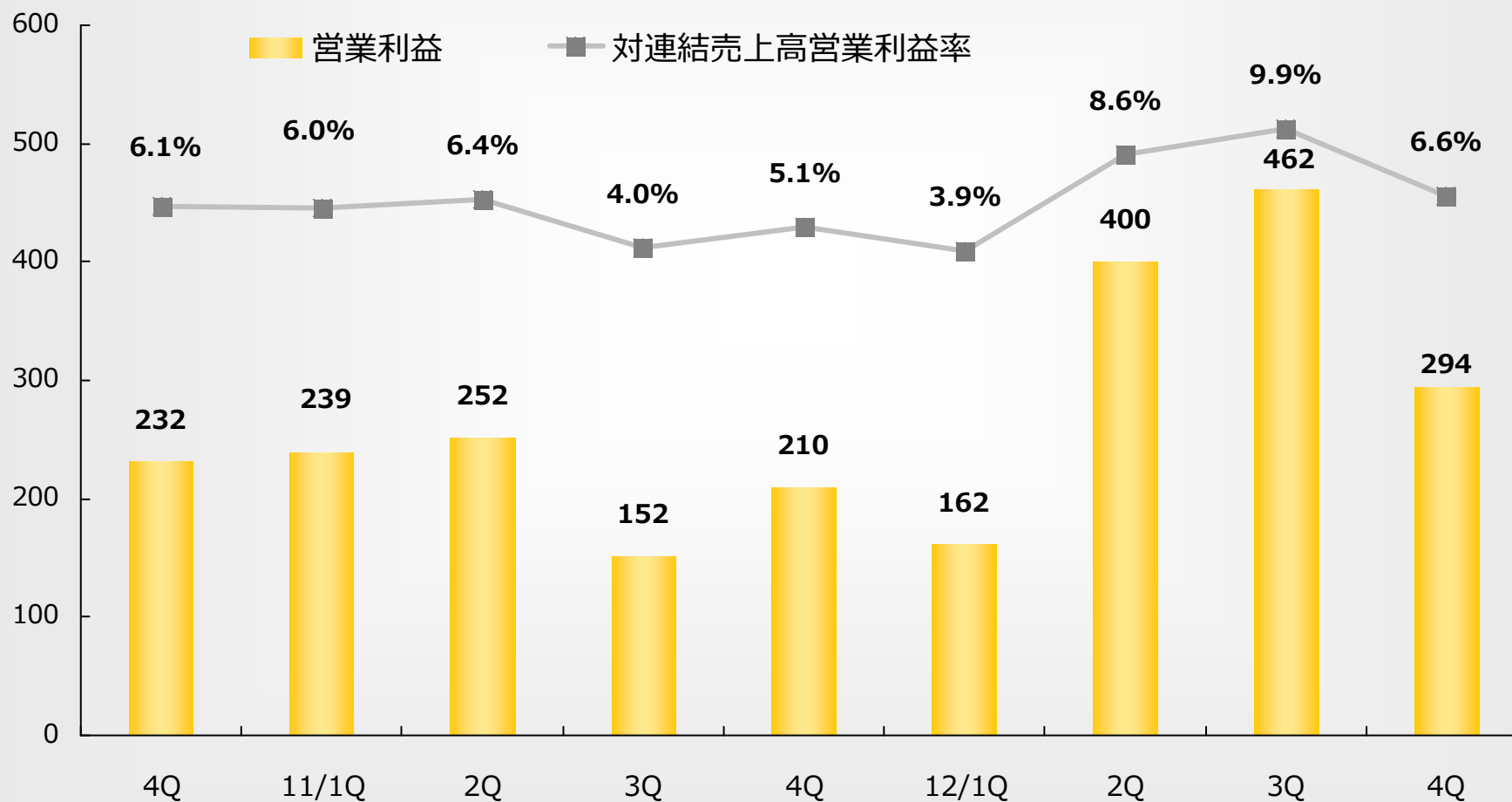
連結販管費 四半期推移

(単位：百万円)



連結營業利益 四半期推移

(単位：百万円)



連結貸借対照表（前四半期比）

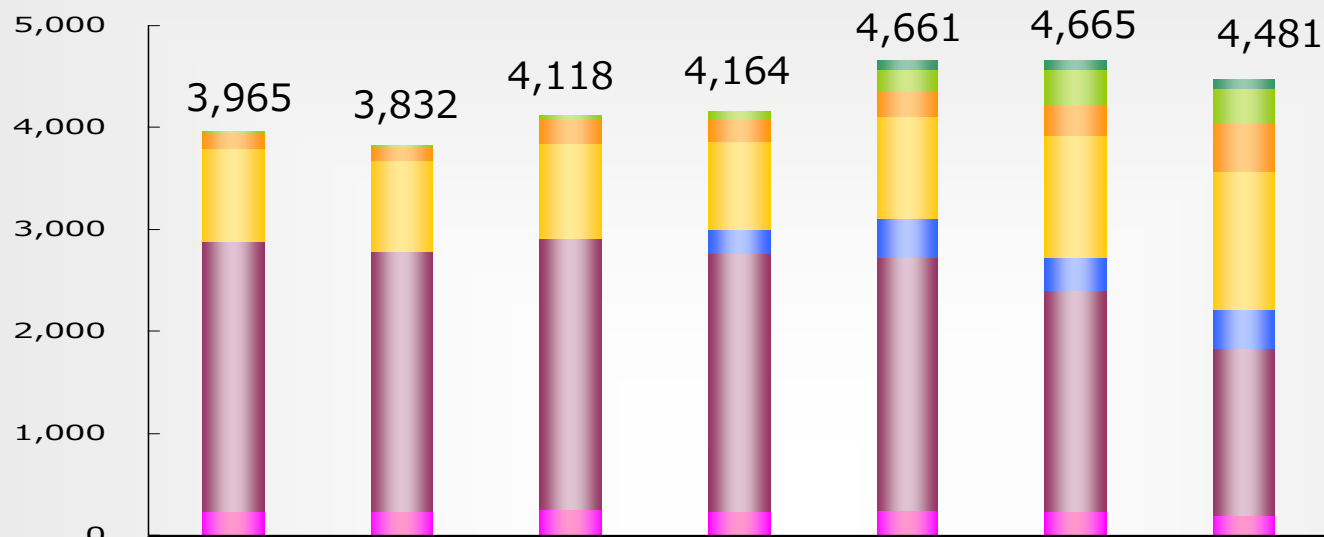
(単位：百万円)

	2012年3月期 4Q	2012年3月期 3Q	増減額	増減率
流動資産	6,558	6,386	+171	+2.7%
（現預金）	3,800	3,555	+245	+6.9%
固定資産	985	1,032	▲46	▲4.5%
総資産合計	7,544	7,419	+124	+1.7%
流動負債	2,586	2,582	+3	+0.1%
（1年以内返済予定 長期借入金）	-	-	-	-
固定負債	33	36	▲2	▲7.4%
負債合計	2,620	2,619	+1	+0.0%
純資産合計	4,923	4,800	+123	+2.6%

6.補足資料

セグメント内識別連結売上高構成比四半期推移

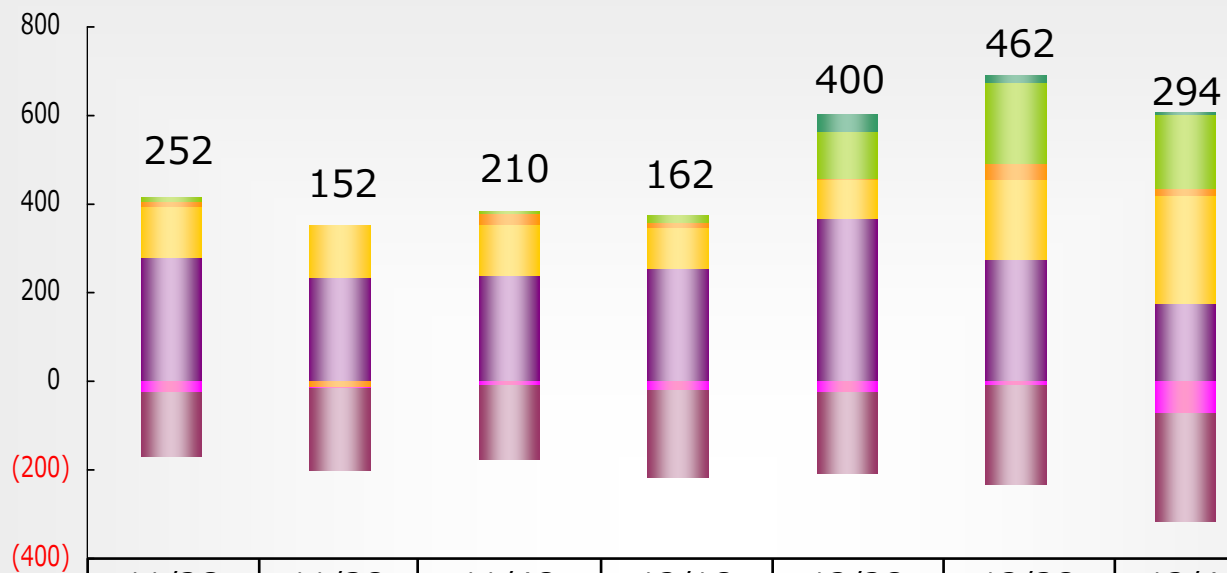
(単位：百万円)



	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	前四半期比	
								増減額	増減率
モバイル	2,658	2,557	2,659	2,526	2,484	2,175	1,643	▲531	▲24.4%
スマートフォン	—	—	—	239	388	318	380	+62	+19.5%
インターネット	910	894	933	870	992	1,204	1,350	+145	+12.1%
海外広告	155	130	237	215	241	302	478	+175	+57.9%
海外製アプリ	11	16	31	76	227	343	350	+7	+2.1%
国内製アプリ	—	—	—	—	84	87	84	▲3	▲3.9%
その他CP等	228	233	256	235	243	232	193	▲39	▲16.8%
合計	3,965	3,832	4,118	4,164	4,661	4,665	4,481	▲183	▲3.9%

6.補足資料

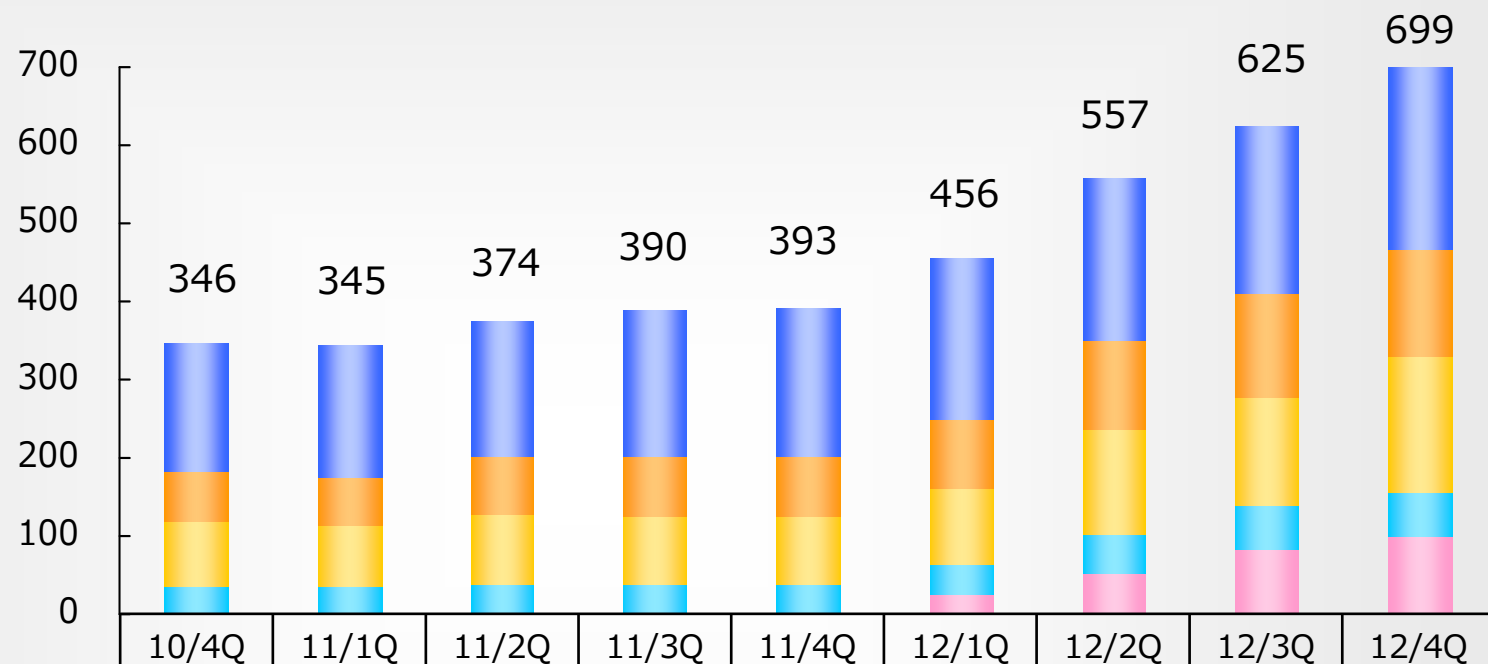
セグメント内識別連結営業利益構成比四半期推移 (単位：百万円)



	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	前四半期比	
								増減額	増減率
モバイルスマートフォン	281	238	239	258	367	275	175	▲100	▲36.4%
インターネット	114	113	119	91	88	180	247	+67	+37.5%
海外広告	15	▲12	21	11	5	37	15	▲22	▲59.9%
海外製アプリ	8	▲1	7	17	104	186	167	▲19	▲10.2%
国内製アプリ	—	—	—	—	42	13	3	▲10	▲75.3%
その他CP等	▲22	▲1	▲9	▲20	▲25	▲9	▲70	▲60	—
消去又は全社	▲144	▲184	▲167	▲196	▲182	▲221	▲244	▲23	—
合計	252	152	210	162	400	462	294	▲168	▲36.3%

当社グループの従業員数 四半期推移

(単位：名)



■ 日本アドウェイズ	163	169	172	188	190	207	208	213	231
■ 中国アドウェイズ	64	63	74	78	77	89	115	133	138
■ 中国開発センター	82	76	88	86	86	96	131	139	174
■ コンテンツグループ	37	37	40	38	40	40	51	56	56
■ 東南アジアアドウェイズ	-	-	-	-	-	24	52	84	100
合計	346	345	374	390	393	456	557	625	699

会社概要

会社名 株式会社アドウェイズ（英名：Adways Co., Ltd.）

設立年月日 2001年2月28日

事業概要 インターネット関連事業

代表者氏名 岡村 陽久

資本金 1,479百万円 [2012年3月末日現在]

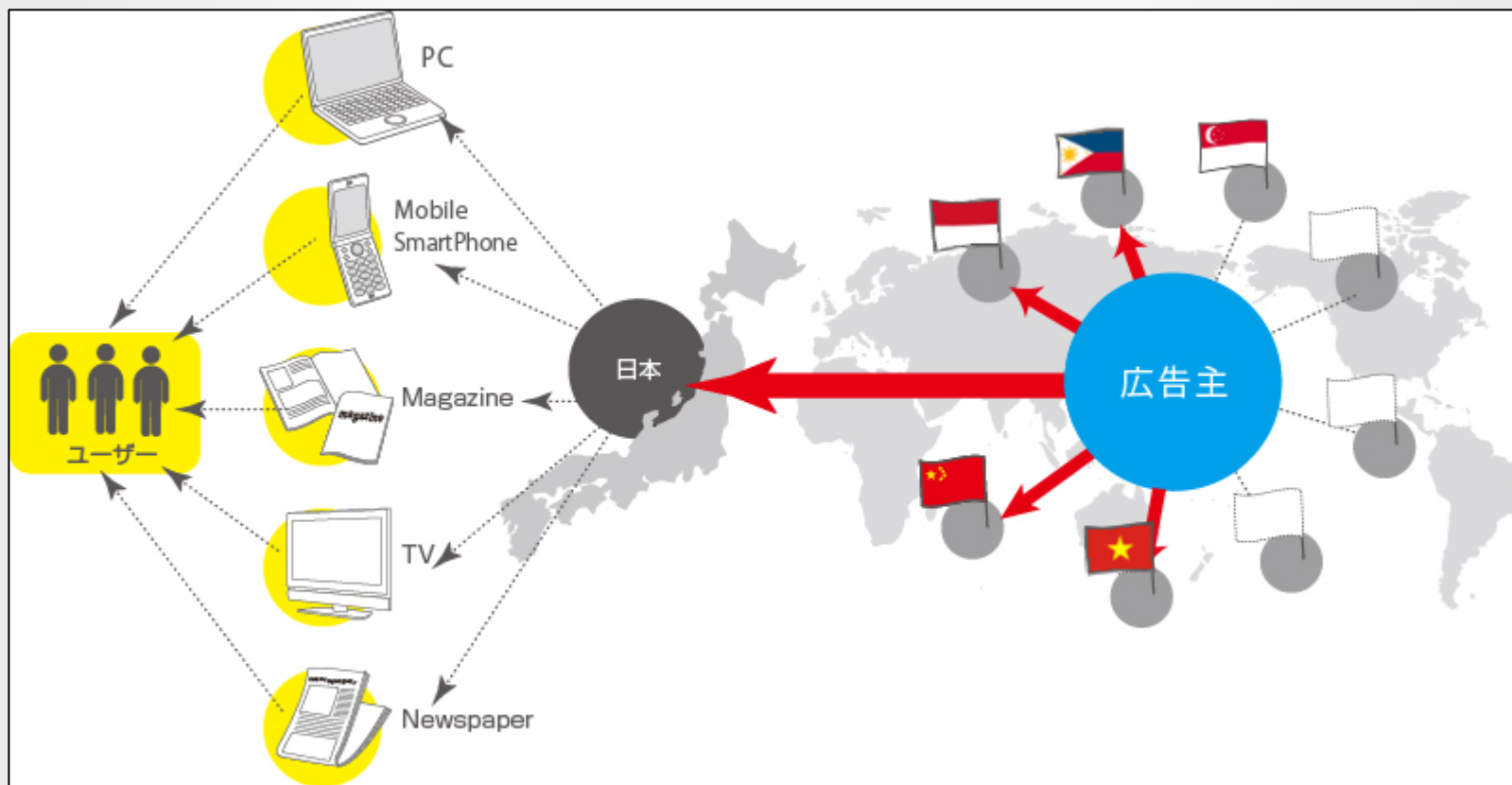
売上高 17,972百万円 [2012年3月期連結]

従業員数 699名（臨時雇用者除く） [2012年3月末日現在]

■ 経営ビジョン

『世界のインターネット商社になる』

PC・モバイルだけでなく、あらゆるメディアにアフィリエイト広告を拡大させ、アフィリエイト広告を日本・中国だけでなく、全世界へ浸透させる。



本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくははいまだに知られていないリスク、不確かさその他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2012年5月10日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。